

【タイトル】 租税教室

【部会名】 青年部会

【日時】 平成22年7月5日(月) AM8:00~PM3:00

【場所】 亀戸第3中学校

【概要】 今年で5年目となる青年部会による租税教室が内容を更に充実させ、第三亀戸中学校3年生対象に執り行われた。

今回の講義は大きく4つに構成され、①【税金の意義と役割】②【税の種類と仕組み】③【グループ討議】④【財政の現状と今後の課題】が各クラス毎に行われた。



熱弁の渡辺部会長

①【税金の意義と役割】ではテキストの資料を基に『国の歳出の内訳』の解説から始まり、学校教育に関わる具体的な費用を例に出し、「税金は公共サービスを受ける為にみんなで出し合う会費の様なもの」と説明した。

②【税の種類と仕組み】については税金の種類の高さと納め方の違いを説明し、これらは全て公平に税金を負担する為の仕組みであると「課税の公平」について講義した。

③【グループ討議】では、年間予算1,200万円の国が収入1,000万円の赤字財政を課題として、解決策を班毎に討論し発表する内容で、様々な意見が出された。

経費を削減する考えや増税案、中には戦争をする等の驚く様な意見も出ていた。



意見を取り纏める佐野幹事長



解決策を発表

最後の④【**財政の現状と今後の課題**】ではテキストの数値を参考に日本の財政問題について講義した。

今年度には公債残高が637兆円にもなる現状と歳入と歳出の危機的な比率を一般家庭の家計例に置き換えて、将来の納税者である生徒達にも解かり易く説明した。

最後に今回の租税教室に協力頂いた、学校関係、東京税理士会江東東支部の先生方並びに江東東税務署関係者の方々に感謝の意を表したい。